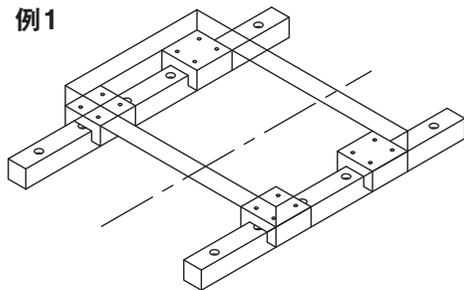


リニアシステムの組み付け構造

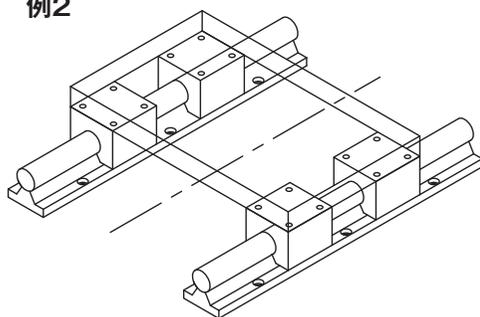
例1



<選定基準>

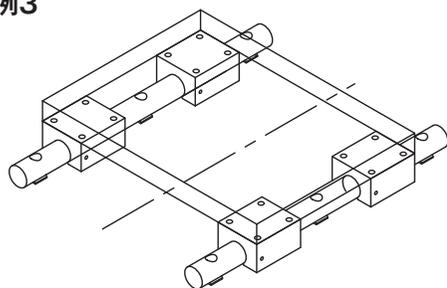
- コストは高いが、高精度、高剛性の案内として最適
- コンパクトな設計
- ボールネジの送り機構に最適

例2



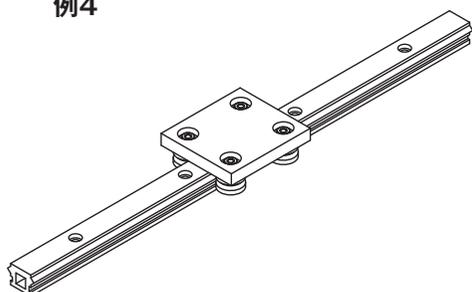
- 軽荷重で高速送りの案内に最適
- 長尺レールとしての継ぎ方法が容易
- レール上の異物除去が容易

例3



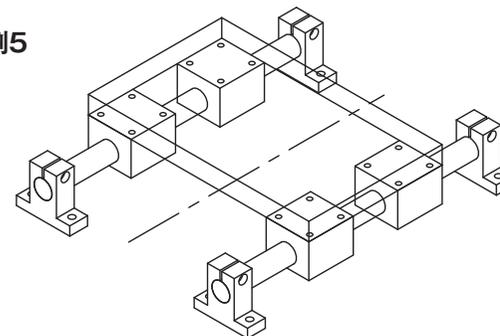
- 軽荷重、コンパクト設計、高速送りの案内として最適
- 長尺レールとしての継ぎ方法が容易

例4



- 長尺レールを単軸使用するとき最適
- 高速運転で静かな走行性能
- ベルト、ワイヤー駆動に最適

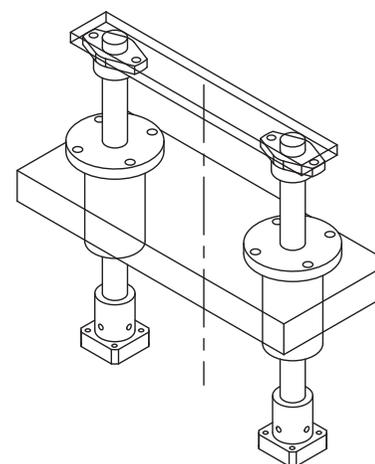
例5



<選定基準>

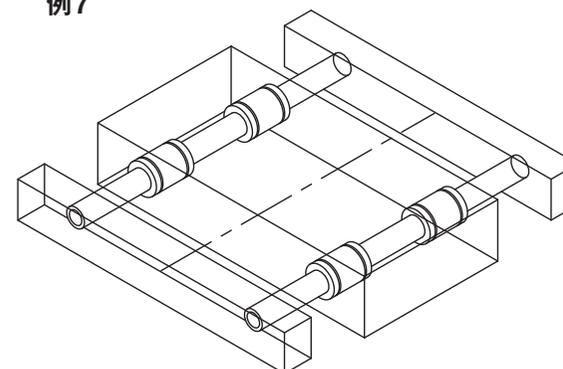
- 規格標準品を選定するだけで
- 最も安いコストの案内機構が得られる
  - エアシリンダー駆動に最適
  - グリース潤滑を嫌うクリーンな環境使用に適する MFメンテナンスフリーシリーズがあります

例6



- 規格標準品を選定するだけで
- 最も安いコストの縦軸案内機構が得られる
  - モーメント荷重が作用する場合、フランジ付ダブル、ロングタイプのベアリングを選定するだけで、最適な縦軸案内が得られる

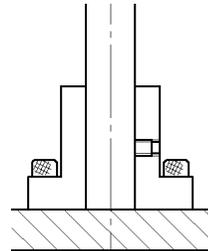
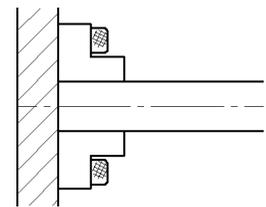
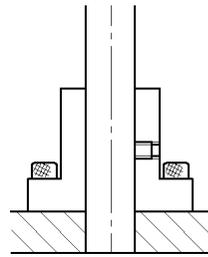
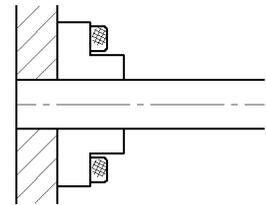
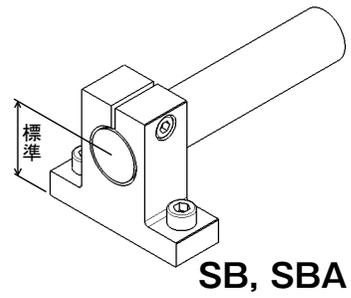
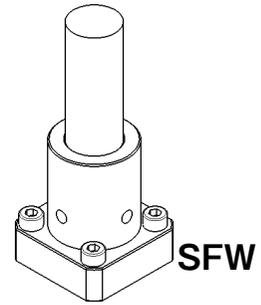
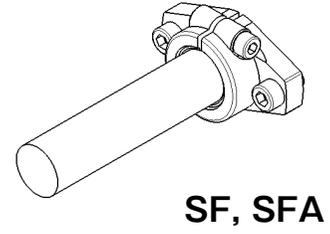
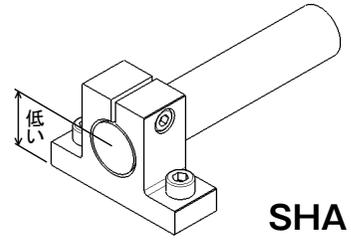
例7



- 最もコンパクトで、安いコストの案内機構で
- ユーザー仕様によるハウジング設計、製作品の中にベアリングを組み込む場合に適します。

●ストレートシャフトで設計するのが最もコストダウン●

リニアシャフトの組付



軸端加工 (片端 or 両端)

